

2017年度（平成29年度）事業計画

基本方針：くまもと障害者労働センターの目指すもの

- （1）障害のあるなしだけでなく様々な困難を抱える人も含め、誰もが共に働くことができる場として社会的事業所の可能性を拓いていきます。
- （2）収益性のある事業を通し、労働権の確保や一定の所得保障を進めていきます。
- （3）私たちは、働くことを通し差別がなくなっていく共生社会をめざしていきます。

運営の目標

2017年度の目標として、私たちが取り組みたいことを列挙すると下記のようになります。

- （1）労働センターの理念と目標の共有、そして将来構想

2016年度は熊本地震から始まりましたが、新たななかま（職員、メンバー）も増え、新たな仕事場として熊本市男女共同参画センターはあもにいの喫茶（まいペーす）営業、おれんじカフェでの弁当製造、全国へのお菓子の卸販売と飛躍の1年となりました。また、隣接のアパートが取り壊しとなり、大家さんより敷地利用についての提案もありました。

まずは、あせらずゆっくりと、不安がみられたら立ち止まることを忘れずに、全体ミーティングでみんなで話し合いながら労働センターの理念と目標の共有を図りながら、将来（2019年4月から）の事業展開について検討をしていきます。

- （2）付加価値の高い商品づくりと販売力の強化

既存のおれんじ村のオリジナル商品、ギフト、新商品の開発とカフェでの商品ディスプレイにおいて、内部だけでなく外部の方にも協力を得ながら、統一したデザイン化を図り付加価値の高い商品づくりと顧客獲得に取り組んでいきます。また、ネット販売などの新しい事業もチャレンジしていきます。

- （3）研修機会の確保

内部研修、外部の研修会への参加だけでなく、他事業所との合同での研修や他の事業所（福祉関係以外も含む）で働く方々の話を聞く機会を定期的に計画していきます。また、各部署でも自ら研修を企画していきます。

- （4）働き方改革

労働センターで働く人たち（職員、メンバーともに）が年々増えてきています。また、新しい事業（まいペーす、弁当）も始まりました。今後、働く人の生活状況や事業の内容により、就業時間等を検討し、誰もが働きやすい職場環境をめざし取り組んでいきます。

【製造部】（売上目標：130万円 2016年度見込み：120万円）

熊本地震の影響で通常の製造ができない期間がありましたが、全国の皆様にたくさんのお菓子の注文をいただき熊本だけでなく、県外に販路を広げることができました。2017年度は、新たなお菓子を定番化しお客様に喜ばれる商品の企画、製造を行います。同時に、本来の理念である「ともに働く場」としてそれぞれが出来る事、できない事を助け合いながらやりがいのある仕事を作っていきます。2017年度は3つの目標を掲げて取り組んでいきます。

- ① 月に1種類の新しいお菓子を製造する。
- ② イベント商品を全国にむけて販売する。また、各部署と連携しプチギフトの企画、営業販売を行う。
- ③ 安定した量を製造できるような環境を整える。

【販売部】（売上目標：900万円 2016年度見込み 1050万円）

2016年度は震災の影響もあり、例年のように訪問販売に行くことができませんでした。地震後は比較的震災の影響が少ない郊外を中心に訪問販売を再開し、現在は通常通り郊外・市内での販売を行っています。また、販売のできない期間は、全国へ復興支援のチラシを配布することで、たくさんの注文をいただきました。

2017年度は全国からの注文が定着させることで、売り上げの向上を目指し2つの目標を掲げて取り組んでいきます。

- ① 全国へ卸販売を継続・発展させるため魅力ある商品の企画を行う
（無農薬紅茶のティーバッグ）
- ② 効率的な訪問販売の方法を検討する（郊外の販売を増やすなど）

【カフェ】（売上目標：600万円 2016年度見込み：500万円）

●おれんじカフェ

2016年度9月より、震災の影響を受け新事業として配食（お弁当）サービスを開始することで、おれんじカフェを再開することができました。これからも引き続き「一般客の集客」と「当事業所の活動を知って貰う場所づくり」という目標を大切にしていきます。約半年、試行錯誤しながら少しずつおれんじ村の目指す弁当屋の形が見えてきたところです。

来年度はカフェメンバー全員が営業マンであり、調理員である、という自負を持ちながら、おれんじ村らしい弁当屋となるよう、3つの目標を掲げて取り組んでいきます。

- ① 平日に提供する弁当数を固定し、安定した販売を目指す
月に1~2回の大口注文（20食を超える注文）を受けていく
- ② 季節に応じたイベントの実施
- ③ 弁当業務、カフェ運営に関わる研修の実施

●まいペーす

2016年度より開始した男女共同参画センターはあもにい内喫茶室まいペーすは、カフェ運営の経験を生かし、徐々にカフェとして形になってきました。また、働くメンバーも意

欲的に取り組むことができています。しかし、日によって客足にバラつきがあるので、日々の売上の安定を図ることを目指し、4つの目標を掲げて取り組んでいきます。

- ① お菓子の販売に力を入れる
- ② 店頭でのコーヒーのテイクアウト
- ③ カフェ運営のための研修
- ④ 持ち帰れる軽食の商品化

【交流・イベント事業】（売上目標：200万円 2016年度見込み：180万円）

労働センターの特徴でもある学校等を訪問しての講演活動は、ここ数年、年間約30件と横ばいの状態です。障害者差別をはじめあらゆる差別をなくし、共生共働の社会づくりを進める私たちの活動の中で、最も重要な事業の一つです。2017年度は、2つの目標を掲げて取り組んでいきます。

- ① 現在、講演をできる人材が不足しており、新たな人材の育成と人材の確保を図る。
- ② 障害児を普通学校へ・全国連絡会全国交流集会（2017年8月26、27日開催）での事務局として大会の成功とともに、各団体、個人との連帯を深める。

【事務・IT部】（売上目標：450万円 2016年度見込み：350万円）

事務・IT部では、おれんじ村の情報発信と印刷関係、文具・事務用品の販売を主な仕事としています。近年、事業所内での作業が多くなってきています。しかし、もっと外に目を向けていくことが、情報発信、印刷の受注、事務用品の販売には必要と考え4つの目標を掲げて取り組んでいきます。

- ・近隣の事業所へ自ら足を運ぶ営業
- ・定期的な学習会や話し合いの場の確保
- ・ネット販売の開始
- ・30周年記念誌とブックレットの発刊

【おれんじ村 Inc.】（収益目標：350万円 2016年度見込み：230万円）

現在は特定相談支援事業に42名、障害児支援事業に28名の相談を受けています。2017年1月より相談支援専門員0.5名増員を行いました。2017年度は、より多くの依頼に応える事ができるようにしていきます。また、相談を受けるだけでなく、地域の課題を把握し、誰もが当たり前のように地域で生活できるような取り組みを行っていきます。

【共生ホーム元気】（収益目標：90万円 2016年度見込み120万円）

熊本地震後、被災地障害者センターくまもとの事務所兼避難所として使用。1月末に、被災地障害者センターくまもとが益城町に引っ越した後は、当事業所のメンバー2名が、自立生活の準備のため使用を開始した。

来年度は、自立生活に向けての応援と、今後の事業展開としてグループホームとしての制度利用について検討を進めていく。